

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 1 区分

【発行日】平成25年7月11日 (2013.7.11)

【公表番号】特表2012-527867(P2012-527867A)

【公表日】平成24年11月12日 (2012.11.12)

【年通号数】公開・登録公報2012-047

【出願番号】特願2011-550339(P2011-550339)

【国際特許分類】

C 1 2 N 15/09 (2006.01)

C 0 7 K 16/18 (2006.01)

C 0 7 K 14/705 (2006.01)

C 1 2 N 1/15 (2006.01)

C 1 2 N 1/19 (2006.01)

C 1 2 N 1/21 (2006.01)

C 1 2 N 5/10 (2006.01)

C 1 2 Q 1/68 (2006.01)

A 6 1 P 35/00 (2006.01)

A 6 1 K 38/00 (2006.01)

A 6 1 P 35/02 (2006.01)

A 6 1 K 48/00 (2006.01)

A 6 1 K 31/7088 (2006.01)

G 0 1 N 33/574 (2006.01)

C 0 7 K 7/06 (2006.01)

【 F I 】

C 1 2 N 15/00 Z N A A

C 0 7 K 16/18

C 0 7 K 14/705

C 1 2 N 1/15

C 1 2 N 1/19

C 1 2 N 1/21

C 1 2 N 5/00 1 0 1

C 1 2 Q 1/68 A

A 6 1 P 35/00

A 6 1 K 37/02

A 6 1 P 35/02

A 6 1 K 48/00

A 6 1 K 31/7088

G 0 1 N 33/574 A

C 0 7 K 7/06

【手続補正書】

【提出日】平成25年5月24日 (2013.5.24)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

以下からなる群より選択されるアミノ酸配列を含む、細胞傷害性Ｔリンパ球（ＣＴＬ）誘導能を有する１５アミノ酸未満の単離されたペプチド：

（a） SEQ ID NO：４、２、３、７、および１２からなる群より選択されるアミノ酸配列；ならびに

（b） １個、２個、または数個のアミノ酸が置換、挿入、欠失、および／または付加されている、SEQ ID NO：４、２、３、７、および１２からなる群より選択されるアミノ酸配列。

【請求項２】

以下の特徴の一方または両方を有する、請求項１記載の単離されたペプチド：

（a） SEQ ID NO：４、２、３、７、および１２からなる群より選択されるアミノ酸配列のＮ末端から２番目のアミノ酸が、フェニルアラニン、チロシン、メチオニン、およびトリプトファンからなる群より選択されるアミノ酸であるように改変されている；ならびに

（b） SEQ ID NO：４、２、３、７、および１２からなる群より選択されるアミノ酸配列のＣ末端のアミノ酸が、フェニルアラニン、ロイシン、イソロイシン、トリプトファン、およびメチオニンからなる群より選択されるアミノ酸であるように改変されている。

【請求項３】

以下の特徴の一方または両方を有する、請求項１記載の単離されたペプチド：

（a） SEQ ID NO：４のＮ末端から２番目のアミノ酸が、ロイシンおよびメチオニンからなる群より選択されるアミノ酸であるように改変されている；ならびに

（b） SEQ ID NO：４のＣ末端のアミノ酸が、バリンおよびロイシンからなる群より選択されるアミノ酸であるように改変されている。

【請求項４】

ノナペプチドまたはデカペプチドである、請求項１～３のいずれか一項記載の単離されたペプチド。

【請求項５】

請求項１～４のいずれか一項記載のペプチドをコードする、単離されたポリヌクレオチド。

【請求項６】

ＣＴＬを誘導するための組成物であって、以下の（a）～（d）からなる群より選択される有効成分を含む組成物：

（a） 請求項１～４のいずれか一項記載の１種もしくは複数種のペプチド；

（b） 請求項５記載の１種もしくは複数種のポリヌクレオチド；

（c） 請求項１～４のいずれか一項記載のペプチドをその表面上に提示するＡＰＣ；および

（d） 請求項１～４のいずれか一項記載のペプチドをその表面上に提示するエキソソーム。

【請求項７】

がんの治療および／もしくは予防のための、ならびに／または術後のその再発の予防のための薬学的組成物であって、以下の（a）～（e）からなる群より選択される有効成分を含む薬学的組成物：

（a） 請求項１～４のいずれか一項記載の１種もしくは複数種のペプチド；

（b） 請求項５記載の１種もしくは複数種のポリヌクレオチド；

（c） 請求項１～４のいずれか一項記載のペプチドをその表面上に提示するＡＰＣ；

（d） 請求項１～４のいずれか一項記載のペプチドをその表面上に提示するエキソソーム；および

（e） 請求項１～４のいずれか一項記載のペプチドを標的とするＣＴＬ。

【請求項８】

ＨＬＡ抗原がＨＬＡ－Ａ２４またはＨＬＡ－Ａ２である対象への投与のために製剤化さ

れる、請求項 7 記載の薬学的組成物。

【請求項 9】

がんを治療するために製剤化される、請求項 7 または 8 記載の薬学的組成物。

【請求項 10】

C T L 誘導能を有する抗原提示細胞 (A P C) を誘導するための インビトロ の方法であって、以下からなる群より選択される段階を含む方法：

(a) A P C を、請求項 1 ~ 4 のいずれか一項記載のペプチドとインビトロ または エクスビポで接触させる段階、および

(b) 請求項 1 ~ 4 のいずれか一項記載のペプチドをコードするポリヌクレオチドを、A P C に導入する段階。

【請求項 11】

C T L を誘導するための インビトロ の方法であって、以下からなる群より選択される段階を含む方法：

(a) C D 8 陽性 T 細胞を、H L A 抗原と請求項 1 ~ 4 のいずれか一項記載のペプチドとの複合体をその表面上に提示する A P C と共培養する段階；

(b) C D 8 陽性 T 細胞を、H L A 抗原と請求項 1 ~ 4 のいずれか一項記載のペプチドとの複合体をその表面上に提示するエキソソームと共培養する段階；および

(c) 請求項 1 ~ 4 のいずれか一項記載のペプチドに結合することができる T 細胞受容体 (T C R) サブユニットポリペプチドをコードするポリヌクレオチドを含む遺伝子を、T 細胞に導入する段階。

【請求項 12】

H L A 抗原と請求項 1 ~ 4 のいずれか一項記載のペプチドとの複合体をその表面上に提示する、単離された A P C 。

【請求項 13】

請求項 10 記載の方法によって誘導される、請求項 12 記載の A P C 。

【請求項 14】

請求項 1 ~ 4 のいずれか一項記載のペプチドを標的とする、単離された C T L 。

【請求項 15】

請求項 11 記載の方法によって誘導される、請求項 14 記載の C T L 。

【請求項 16】

対象においてがんに対する免疫応答を誘導するための 組成物 であって、以下の (a) ~ (e) からなる群より選択される有効成分を含む組成物；

(a) 請求項 1 ~ 4 のいずれか一項記載の 1 種もしくは複数種のペプチド；

(b) 請求項 1 ~ 4 のいずれか一項記載のペプチドをコードする 1 種もしくは複数種の ポリヌクレオチド；

(c) 請求項 1 ~ 4 のいずれか一項記載のペプチドをその表面上に提示する A P C ；

(d) 請求項 1 ~ 4 のいずれか一項記載のペプチドをその表面上に提示する エキソソーム；および

(e) 請求項 1 ~ 4 のいずれか一項記載のペプチドを標的とする C T L 。

【請求項 17】

請求項 1 ~ 4 のいずれか一項記載のペプチドに対する抗体またはその断片。

【請求項 18】

請求項 1 ~ 4 のいずれか一項記載のペプチドをコードするヌクレオチド配列を含む 発現ベクター。

【請求項 19】

請求項 18 記載の発現ベクターを用いて形質転換またはトランスフェクトされた宿主細胞。

【請求項 20】

請求項 1 ~ 4 のいずれか一項記載のペプチド、請求項 7 記載のポリヌクレオチド、または請求項 17 記載の抗体を含む、診断キット。